

友好都市のサイパン市 トゥデラ市長が登別を訪問

6月26日(火)から28日(木)までの3日間、昨年11月に『友好都市提携同意書』を締結したサイパン市のトゥデラ市長が登別市を訪れました。

この訪問は、サイパン市との具体的な交流を進めるため、上野市長がトゥデラ市長を招待したもので、北海道遺産の登別地獄谷や天然温泉の足湯、テーマパークなどを視察し、27日(水)の夜は市内のホテルで昨年のサイパンツアーの参加者が中心となり、ウエルカムパーティーを開催しトゥデラ市長との交流を深めました。

トゥデラ市長は、初めて見る大きなヒグマに驚いたり、歩いて疲れた足を足湯で癒やしたり市内の名所に満足した様子で、ウエルカムパーティーでは郷土芸能の熊舞や地場の食材を利用した料理に感激していました。

今後は、雪の降らないサイパンの子どもたちを冬の登別に招待し、ふおれすと鉱山やカルルス温泉サンライバスキー場で雪の体験や市民との交流などが予定されています。



ファインプレーに大きな歓声 ～市民ソフトボール大会～



7月1日(日)、岡志別の森運動公園で12チームが参加して、市民ソフトボール大会(文化・スポーツ振興財団主催)が行われました。

このソフトボール大会は、今まで秋に開催の市民健康スポーツフェスティバルで行われていた催しの一つで、今年はこの時期と秋にも開催が予定されています。

この日は、主催者のあいさつに引き続いてストレッチ運動が行われ、その後試合開始。参加チームは朝野球チームが多く、日ごろから練習しているとあって動きは軽快で、ホームランやファインプレーが飛び出すと周りから大きな歓声が上がっていました。

参加者は、すがすがしい風を受けながら気持ちのよい汗を流していました。

地域の子どもたちが児童館で交流 ～登別地区『児童館まつり』～

7月14日(日)、登別・富浦児童館と登別温泉児童室に通う子どもたち約120人が登別児童館に集まって登別地区の『児童館まつり』(市主催)が行われました。

今年から、校区一体化により登別温泉児童室に通う子どもたちも参加。気温の上がらない中、半そで・短パンで参加する子どももいました。

この日は、金額の入った1人300円分の券が配られ、まつり開始の笛の合図とともに、くじやヨーヨーつり、おみせやさん、射的などが始まり、子どもたちは列を成しながら歓声を上げていました。このほか3枚の板を縦に積み上げるかまぼこ板たてゲームや好きな色のスライムを作る体験コーナーなどが行われました。

